

東京清掃労働組合

一組総支部通信

一組総支部
事務局
一組本部支部内
fax6238-0504
tel6238-0502
e-mail
seisou-ichkumi
@w7.dion.ne.jp

執行委員長
細貝秀夫
教宣部長
奈良有記
教宣担当
福田雄一

迎春

組員の皆様、新年あけましておめでとうございます。一組総支部を代表して年頭のご挨拶をさせていただきます。

はじめに、日頃の総支部へのご協力に心より感謝申し上げます。

昨年は、日本全国を震撼させた東日本大震災とそれに伴う福島第一原発事故が発生しました。しかし、この未曾有の災害を経験したことで、眞の日本人の姿を発見できたように思えます。なぜなら、日本が無縫社会になったと言われる昨今、震災後に示された被災者と国民の支え合う精神は、世界が称賛するほど素晴らしいものだったからです。一刻も早い被災者の生活再建と被災地の復興を願い、今後も継続した支援を行っていきたいと考えています。

その一つが、原発の信頼性が大きく揺らいでいる中での電力供給です。清掃一組が所有する発電システムは、昨年の夏の電力不足時に社会的評価を受けました。清掃一組は、23区の清掃事業を安全で安定的に維持するとともに、一自治体としての社会的責任も果すべきなのです。

清掃一組は、外部業務委託についての主な内容は、①今後の委託計画

について、②人材育成と操業環境における問題点について、③清掃一組を取り巻く諸課題についてでした。これについては、一昨年労使で確認した「今後の工場運営等に対する意見交換会」を2回開催しました。その主な内容は、

困難な状況に陥っている清掃一組の現状からも、有意義なものになつたと評価しています。よつて、今後も継続した開催を求めていきます。

清掃一組で被災地の「がれき」を受け入れについてです。

二点目は、被災地の「がれき」を処理することが決まり、総支部としても各工場の実情に合った安全対策を条件として、全面的に協力していく立場で臨みます。

東京清掃労働組合

執行委員長 細貝秀夫

三点目は、放射能に対する安全対策についてです。

清掃一組の『放射線障害防止指針』が定められました。この指針は私たちの要求を含め、現在考えられる問題点の多くを網羅し、労働者の安全対策の面でも評価できるものです。しかし、被ばくを完全に防ぐものはできません。よつて、今後の監視体制を強化していく必要があります。四点目は、水銀を含む焼却不適物の搬入についてです。

この間、水銀濃度の急上昇で焼却炉の緊急停止を余儀なくされた工場が数多くあります。そこで、水銀等有害物質の別途回収と併せて、23区の統一した分別方法を継続的に求めています。

五点目は、清掃工場の搬入受入時間の拡大についてです。

来年度から多くの工場で搬入受入時間が変更され、昼休み時間帯については、全工場で実施することになりました。組合員の負担を増やし職場に混乱を招く搬入受入の拡大は阻止しなければなりません。

六点目、年末年始作業計画等についてです。

労使確認事項である全労停止工場の設定や、年末年始期間中の搬入受入工場の選定等に係る均等化について「時間を掛けて十分な協議を行える場を設けたい」とする一步踏み込んだ当局の考えを引き出すことが出来ました。よつて、来年度の早い時期から協議を行っていきたいと考えています。

一組総支部は、東京清掃労働組合の中でも最大の組織です。

組合員の労働条件をはじめ、年間の交渉事項は多岐に亘っています。今後も全組合員が安心して働き続けられるよう、取組みを強化していきます。

本年も、皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

一組総支部組合員の団結で要求貫徹!



急務、災害廃棄物対応！

東京全労済
中央労動金庫
セレモアつくば

お問い合わせは
支部役員さんへ

活動予定と日程

1月6日	一組総支部 常任執行委員会
11日	一組総支部 執行委員会
17日	一組総支部 常任執行委員会
25日	一組総支部 執行委員会
27日	一組総支部 支部委員会

取り組み
文化厚生活動の推進、親睦交流ボウリング大会、安全衛生課題、職員互助会、他

水銀
放射能問題
要請
要貪
審議
審議
外務委託に
対して

